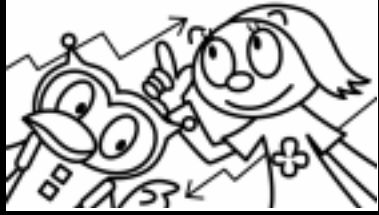


算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 6年 / 数量関係 / 場合の数 / 理解シート

5種類のものから3種類を選ぶとき、表でどう考えるの

(残りの2種類から考える方法)



残りに着目すると、5種類から2種類を選ぶことになるね。
残す組み合わせを考えるといいよ。

1

下の条件で考えてみましょう。

バナナ、みかん、りんご、いちご、ぶどうの5種類の果物があります。
このうちから、3種類を選んで、盛りあわせます。
ぜんぶで何とおりの組み合わせがありますか。

2

表を書いて考えましょう。

- ・残す組み合わせを考えましょう。



残りのことを考えると、5種類から2種類を選ぶ組み合わせと同じことですね。

	バナナ	みかん	りんご	いちご	ぶどう
バナナ		○	○	○	⊖
みかん			○	○	⊖
りんご				○	⊖
いちご					⊖
ぶどう					

- ・○の数を数えて、10とおりとわかります。

答え 10 とおり

..... ・バナナとぶどうを残す。

..... ・みかんとぶどうを残す。

..... ・りんごとぶどうを残す。

..... ・いちごとぶどうを残す。

..... ・このらんは、同じ組み合わせになるので実際にはありません。

..... ・このらんより下のらんは、上の組み合わせと重なります。

[もっと知りたい人へ] 図 (樹形図) や多角形で考える方法もあります。

「5種類のものから3種類を選ぶとき、図 (樹形図) でどう考えるの」

「5種類のものから3種類を選ぶとき、多角形の図でどう考えるの」

も、見ましょう。